

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美容専門課程	美容学科 昼間部（2年制）	2022年度	1年・前期,
講義区分	授業科目名	担当教員	後期
専門基礎	技術理論	廣川王子	2単位・42
<b>【授業の到達目標】</b>			
<p>* 1人の技術者として、お客様により良い美容の技術と心を提供できるよう美容の基礎技術を学ぶ</p> <p>* 知識を衛生的、能率的に実践する習慣を養う。</p> <p>* 技術には、その裏付けとなる理論が必ずある。美容界も同じで「なぜそうなるのか」を解明し、説明できるようになる。</p> <p>* 日々のたゆむことのない反復練習の重要性を学ぶ。</p>			
<b>【授業概要】</b>			
<p>* 美容道具・美容機器・美容機械等について種類、特徴などを学ぶ</p> <p>* 基礎技術…理論を学びながら技術を、技術を学びながら理論を繰り返し基礎を身につける。</p> <p>* 美容技術者としての心構え…単に技術だけでなく美容文化や公衆衛生、薬剤、化粧料の観点にも目を向ける。</p>			
<b>【授業の特徴・教員紹介】</b>			
<p>* 講義形式を基本とするが、展示等を取り入れ視覚からも学ぶ。</p> <p>* 担当教員は美容業界で美容師として実務、教育者として12年の経験があります。皆さんが免許を取得するだけでなく将来働く際に役立つ技術をしっかり指導、お伝えします。</p> <p>* 美容師になる為の国家試験課題のWD授業などを通して、基礎的技術を作業の実習に即して指導し身につける。</p>			
<b>【成績評価】</b>			
<p>定期試験学科科目に関しては、100点をもって満点とし、60点以上を得たものを合格とする。不合格のものは再試験を受けることとする。</p>			
<b>【授業計画・内容】</b>			
美容技術を学ぶにあたって			1
作業姿勢・各部の名称			1
パーマメントウェーブ・歴史・理論・パーマ剤・ワインディングバリエーション			3
美容道具			1
シャンプー総論・サイド、バックシャンプー			3
リンス・コンディショナー・トリートメント・ヘッドスパ			2
ヘアカラーリング・種類・タイプ別特徴			2
染毛のメカニズム・色の基本			2
ヘアカッティング基礎技術			3
ヘアカッティング・シザーの持ち方			1
ヘアカッティングの姿勢・カット技法			2
ネイル技術・爪の構造・爪のカット形状			3
ネイルケア技術・テーブルセッティング			3
メイクアップ総論・テーブルセッティング			3
スキンケア・ベースメイク・ポイントメイクアップ			3
着付技術総論・礼装・着物の種類・季節			2
留袖着付・たたみ方			3
定期試験対策			4

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美容専門課程	美容学科 昼間部（2年制）	2022年度	1年・前期,
講義区分	授業科目名	担当教員	後期
専門基礎	技術理論	中尾 美沙	2単位・42
<b>【授業の到達目標】</b>			
<p>* 1人の技術者として、お客様により良い美容の技術と心を提供できるよう美容の基礎技術を学ぶ</p> <p>* 知識を衛生的、能率的に実践する習慣を養う。</p> <p>* 技術には、その裏付けとなる理論が必ずある。美容界も同じで「なぜそうなるのか」を解明し、説明できるようになる。</p> <p>* 日々のたゆむことのない反復練習の重要性を学ぶ。</p>			
<b>【授業概要】</b>			
<p>* 美容道具・美容機器・美容機械等について種類、特徴などを学ぶ</p> <p>* 基礎技術…理論を学びながら技術を、技術を学びながら理論を繰り返し基礎を身につける。</p> <p>* 美容技術者としての心構え…単に技術だけでなく美容文化や公衆衛生、薬剤、化粧料の観点にも目を向ける。</p>			
<b>【授業の特徴・教員紹介】</b>			
<p>* 講義形式を基本とするが、展示等を取り入れ視覚からも学ぶ。</p> <p>* 担当教員は美容業界で美容師として実務、教育者として7年の経験があります。皆さんが免許を取得するだけでなく将来働く際に役立つ技術をしっかり指導、お伝えします。</p> <p>* 美容師になる為の国家試験課題のWD授業などを通して、基礎的技術を作業の実習に即して指導し身につける。</p>			
<b>【成績評価】</b>			
<p>定期試験学科科目に関しては、100点をもって満点とし、60点以上を得たものを合格とする。不合格のものは再試験を受けることとする。</p>			
<b>【授業計画・内容】</b>			
美容技術を学ぶにあたって			1
作業姿勢・各部の名称			1
パーマメントウェーブ・歴史・理論・パーマ剤・ワインディングバリエーション			3
美容道具			1
シャンプー総論・サイド、バックシャンプー			3
リンス・コンディショナー・トリートメント・ヘッドスパ			2
ヘアカラーリング・種類・タイプ別特徴			2
染毛のメカニズム・色の基本			2
ヘアカッティング基礎技術			3
ヘアカッティング・シザーの持ち方			1
ヘアカッティングの姿勢・カット技法			2
ネイル技術・爪の構造・爪のカット形状			3
ネイルケア技術・テーブルセッティング			3
メイクアップ総論・テーブルセッティング			3
スキンケア・ベースメイク・ポイントメイクアップ			3
着付技術総論・礼装・着物の種類・季節			2
留袖着付・たたみ方			3
定期試験対策			4

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美容専門課程	美容学科 昼間部（2年制）	2022年度	1年・前期,
講義区分	授業科目名	担当教員	後期
専門基礎	技術理論	星 優	2単位・42
<b>【授業の到達目標】</b>			
<p>* 1人の技術者として、お客様により良い美容の技術と心を提供できるよう美容の基礎技術を学ぶ</p> <p>* 知識を衛生的、能率的に実践する習慣を養う。</p> <p>* 技術には、その裏付けとなる理論が必ずある。美容界も同じで「なぜそうなるのか」を解明し、説明できるようになる。</p> <p>* 日々のたゆむことのない反復練習の重要性を学ぶ。</p>			
<b>【授業概要】</b>			
<p>* 美容道具・美容機器・美容機械等について種類、特徴などを学ぶ</p> <p>* 基礎技術…理論を学びながら技術を、技術を学びながら理論を繰り返し基礎を身につける。</p> <p>* 美容技術者としての心構え…単に技術だけでなく美容文化や公衆衛生、薬剤、化粧料の観点にも目を向ける。</p>			
<b>【授業の特徴・教員紹介】</b>			
<p>* 講義形式を基本とするが、展示等を取り入れ視覚からも学ぶ。</p> <p>* 担当教員は美容業界で美容師として実務、教育者として10年の経験があります。皆さんが免許を取得するだけでなく将来働く際に役立つ技術をしっかり指導、お伝えします。</p> <p>* 美容師になる為の国家試験課題のWD授業などを通して、基礎的技術を作業の実習に即して指導し身につける。</p>			
<b>【成績評価】</b>			
<p>定期試験学科科目に関しては、100点をもって満点とし、60点以上を得たものを合格とする。不合格のものは再試験を受けることとする。</p>			
<b>【授業計画・内容】</b>			
美容技術を学ぶにあたって			1
作業姿勢・各部の名称			1
パーマメントウェーブ・歴史・理論・パーマ剤・ワインディングバリエーション			3
美容道具			1
シャンプー総論・サイド、バックシャンプー			3
リンス・コンディショナー・トリートメント・ヘッドスパ			2
ヘアカラーリング・種類・タイプ別特徴			2
染毛のメカニズム・色の基本			2
ヘアカッティング基礎技術			3
ヘアカッティング・シザーの持ち方			1
ヘアカッティングの姿勢・カット技法			2
ネイル技術・爪の構造・爪のカット形状			3
ネイルケア技術・テーブルセッティング			3
メイクアップ総論・テーブルセッティング			3
スキンケア・ベースメイク・ポイントメイクアップ			3
着付技術総論・礼装・着物の種類・季節			2
留袖着付・たたみ方			3
定期試験対策			4

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美容専門課程	美容学科 昼間部（2年制）	2022年度	2年・前期、後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	技術理論	糸井深雪	2単位・43

**【授業の到達目標】**

- \* 1人の技術者として、お客様により良い美容の技術と心を提供できるよう美容の基礎技術を学ぶ
- \* 知識を衛生的、能率的に実践する習慣を養う。
- \* 技術には、その裏付けとなる理論が必ずある。美容界も同じで「なぜそうなるのか」を解明し、説明できるようになる。
- \* 日々のたゆむことのない反復練習の重要性を学ぶ。

**【授業概要】**

- \* 美容道具・美容機器・美容機械等について種類、特徴などを学ぶ
- \* 基礎技術…理論を学びながら技術を、技術を学びながら理論を繰り返し基礎を身につける。
- \* 美容技術者としての心構え…単に技術だけでなく美容文化や公衆衛生、薬剤、化粧料の観点にも目を向ける。

**【授業の特徴・教員紹介】**

- \* 講義形式を基本とするが、展示等を取り入れ視覚からも学ぶ。
- \* 担当教員は美容業界で美容師として実務、教育者として23年の経験があります。皆さんが免許を取得するだけでなく将来働く際に役立つ技術をしっかり指導、お伝えします。
- \* 美容師になる為の国家試験課題のWD授業を通して、基礎的技術を作業の実習に即して指導し身につける。

**【成績評価】**

定期試験学科科目に関しては、100点をもって満点とし、60点以上を得たものを合格とする。不合格のものは再試験を受けることとする。

**【授業計画・内容】**

カラーリング・毛髪のレベルとアンダートーン・ヘアブリーチ	3
美容道具・アイロン・ドライヤー・スチーマー	2
カット技法	2
パーマメントウェーブ・ワインディングバリエーション	3
ヘアセッティング	3
ネイル技術・ネイルケア	3
アーティフィシャルネイル・手と足のマッサージ	5
ポイントメイクアップ・まつ毛エクステンション	5
日本髪	3
振り袖着付け・男子礼装	3
和装花嫁・洋装花嫁	3
定期試験対策	4
国家試験対策	3

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美容専門課程	美容学科 昼間部（2年制）	2022年度	2年・前期、後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	技術理論	板垣 雪雄	2単位・43

**【授業の到達目標】**

- \* 1人の技術者として、お客様により良い美容の技術と心を提供できるよう美容の基礎技術を学ぶ
- \* 知識を衛生的、能率的に実践する習慣を養う。
- \* 技術には、その裏付けとなる理論が必ずある。美容界も同じで「なぜそうなるのか」を解明し、説明できるようになる。
- \* 日々のたゆむことのない反復練習の重要性を学ぶ。

**【授業概要】**

- \* 美容道具・美容機器・美容機械等について種類、特徴などを学ぶ
- \* 基礎技術…理論を学びながら技術を、技術を学びながら理論を繰り返し基礎を身につける。
- \* 美容技術者としての心構え…単に技術だけでなく美容文化や公衆衛生、薬剤、化粧料の観点にも目を向ける。

**【授業の特徴・教員紹介】**

- \* 講義形式を基本とするが、展示等を取り入れ視覚からも学ぶ。
- \* 担当教員は美容業界で美容師として実務、教育者として20年の経験があります。皆さんが免許を取得するだけでなく将来働く際に役立つ技術をしっかり指導、お伝えします。
- \* 美容師になる為の国家試験課題のWD授業を通して、基礎的技術を作業の実習に即して指導し身につける。

**【成績評価】**

定期試験学科科目に関しては、100点をもって満点とし、60点以上を得たものを合格とする。不合格のものは再試験を受けることとする。

**【授業計画・内容】**

カラーリング・毛髪のレベルとアンダートーン・ヘアブリーチ	3
美容道具・アイロン・ドライヤー・スチーマー	2
カット技法	2
パーマメントウェーブ・ワインディングバリエーション	3
ヘアセッティング	3
ネイル技術・ネイルケア	3
アーティフィシャルネイル・手と足のマッサージ	5
ポイントメイクアップ・まつ毛エクステンション	5
日本髪	3
振り袖着付け・男子礼装	3
和装花嫁・洋装花嫁	3
定期試験対策	4
国家試験対策	3

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美容専門課程	美容学科 昼間部 (2年制)	2022年度	2年・前期、後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	技術理論	石山 晴之	2単位・43

### 【授業の到達目標】

- \* 1人の技術者として、お客様により良い美容の技術と心を提供できるよう美容の基礎技術を学ぶ
- \* 知識を衛生的、能率的に実践する習慣を養う。
- \* 技術には、その裏付けとなる理論が必ずある。美容界も同じで「なぜそうなるのか」を解明し、説明できるようになる。
- \* 日々のたゆむことのない反復練習の重要性を学ぶ。

### 【授業概要】

- \* 美容道具・美容機器・美容機械等について種類、特徴などを学ぶ
- \* 基礎技術…理論を学びながら技術を、技術を学びながら理論を繰り返し基礎を身につける。
- \* 美容技術者としての心構え…単に技術だけでなく美容文化や公衆衛生、薬剤、化粧料の観点にも目を向ける。

### 【授業の特徴・教員紹介】

- \* 講義形式を基本とするが、展示等を取り入れ視覚からも学ぶ。
- \* 担当教員は美容業界で美容師として実務、教育者として14年の経験があります。皆さんが免許を取得するだけでなく将来働く際に役立つ技術をしっかり指導、お伝えします。
- \* 美容師になる為の国家試験課題のWD授業を通して、基礎的技術を作業の実習に即して指導し身につける。

### 【成績評価】

定期試験学科科目に関しては、100点をもって満点とし、60点以上を得たものを合格とする。不合格のものは再試験を受けることとする。

### 【授業計画・内容】

カラーリング・毛髪のレベルとアンダートーン・ヘアブリーチ	3
美容道具・アイロン・ドライヤー・スチーマー	2
カット技法	2
パーマメントウェーブ・ワインディングバリエーション	3
ヘアセッティング	3
ネイル技術・ネイルケア	3
アーティフィシャルネイル・手と足のマッサージ	5
ポイントメイクアップ・まつ毛エクステンション	5
日本髪	3
振り袖着付け・男子礼装	3
和装花嫁・洋装花嫁	3
定期試験対策	4
国家試験対策	3